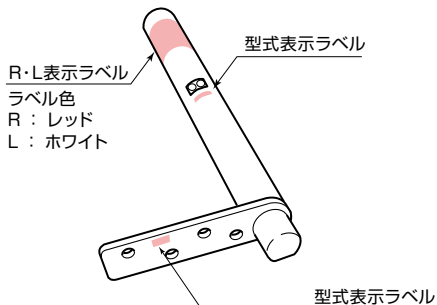
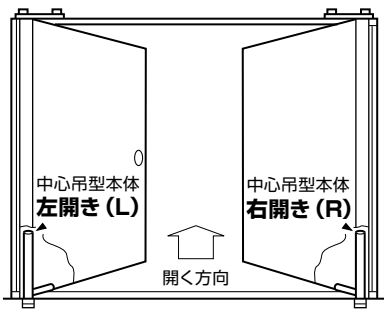


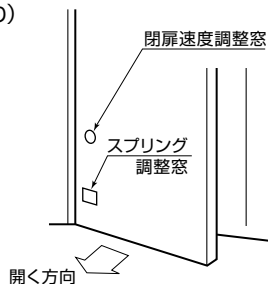
施工上の注意

左右開き勝手の確認

ドアおよびオートヒンジの開き勝手は、次の要領で確認してください。



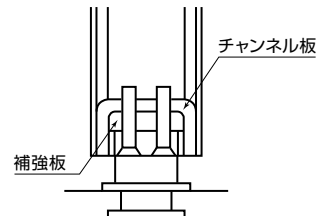
ドアの調整窓は、開く側にあるかを確認してください。
(標準納まり)



ご注意：左右勝手を間違えますと故障の原因となります。

ご使用するドアへの補強

下記表に従って補強板、チャンネル板の補強を行なってください。



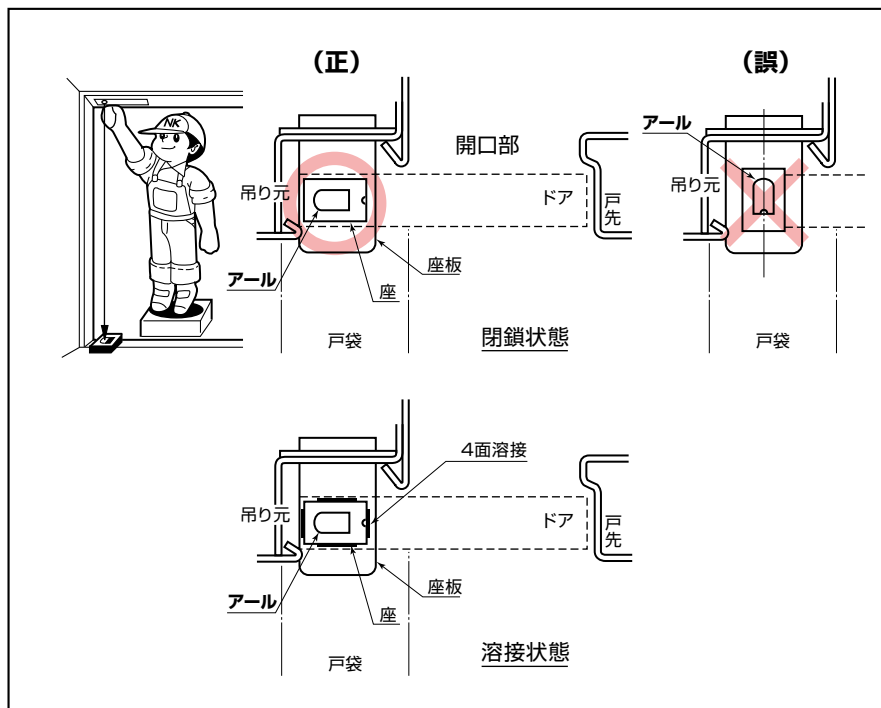
板厚 品名	補強板チャンネル板の 板厚(mm)
AFD-8KH AFD-12H AFD-14H	2.3以上
AFD-16H AFD-22 AFD-30	3.2以上
AFD-35A	4.5以上

受座の取り付け

受座は必ずドアを閉めた時に座の溝の**アール側が吊元側**になるように設置ください。
(アール方向を間違えますと本体の故障の原因となります。)

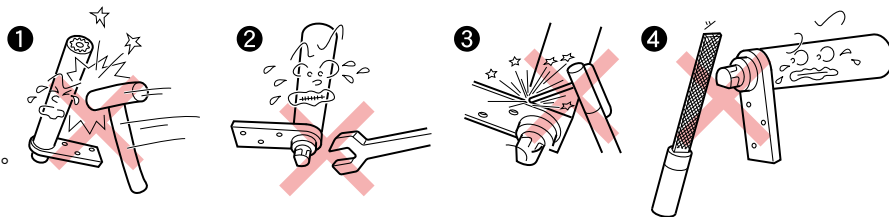
スライド受座の座は座板に対してスライドできますので下げぶり等にてトップピボットとの芯を出してください。

芯出し後、座と座板とは鉄筋等を介して躯体等と固定するよう確実に溶接してください。(受座には大きなねじれ力が加わります。座の全周4面10mm以上確実に溶接ください。)



取り扱い上のご注意

- たたいたり落したりしないでください。
- 下部脚をまわしたりしないでください。
- 溶接で取り付けしないでください。
- 下部脚のテーパ部分をけずらないでください。



トップピボットの取り付け

トップピボットの取り付けは必ず扉製作後に行い、トップピボットを取り付けた状態で扉への溶接はしないでください。シャフトが上手く入らず扉の転倒事故の原因となります。